

# 伊集院保健所感染症情報

2026年第26週（令和8年6月22日～令和8年6月28日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

## 定点把握感染症

管内流行発生警報発令中：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、伝染性紅斑、ヘルパンギーナ

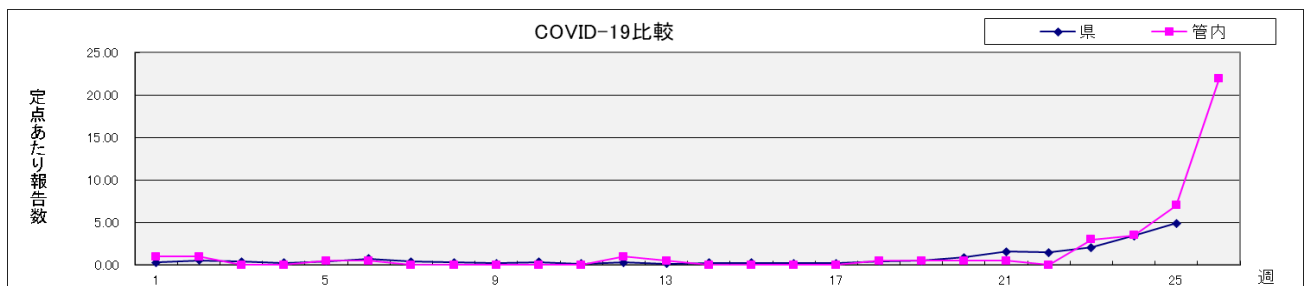
定点医療機関【ARI2（インフルエンザ・COVID）、小児科1、基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内				先週からの増減	県	
	開始	終息	基準値	第23週	第24週	第25週	第26週		第25週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	85.00	92.50	113.00	124.50	↗	52.56	↗
インフルエンザ	30	10	10	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.11	↗
COVID-19	—	—	—	3.00	3.50	7.00	22.00	↗	4.91	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	2.00	1.00	1.00	0.00	↘	0.61	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	10.00	8.00	11.00	8.00	↘	2.32	↗
感染性胃腸炎	20	12	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	4.71	↗
水痘	2	1	1	0.00	1.00	0.00	0.00	→	0.48	↗
手足口病	5	2	—	38.00	34.00	21.00	17.00	↘	8.39	↘
伝染性紅斑	2	1	—	1.00	2.00	3.00	4.00	↗	0.23	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘	0.45	↗
ヘルパンギーナ	6	2	—	4.00	4.00	1.00	6.00	↗	1.68	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	→
RSウイルス感染症	—	—	—	1.00	0.00	0.00	9.00	↗	2.39	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし、注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

## 注意すべき感染症

### COVID-19（増加傾向）

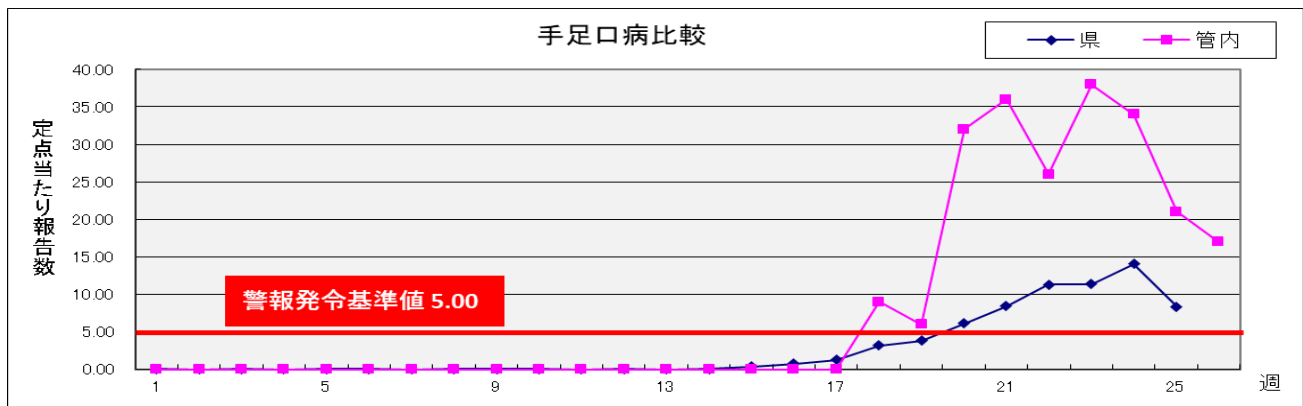


管内で新型コロナウイルス感染症が増加しています。主な症状は、発熱、呼吸器症状（咳、咽頭痛）、頭痛、倦怠感等です。下痢、嘔吐、嗅覚・味覚障害をおこす事もあります。下記の予防対策を心がけましょう。

### 感染症予防対策

- ①咳エチケット（口・鼻を覆う）
- ②「液体石けん・流水による手洗い」か「手指消毒」
- ③換気（部屋の換気を定期的に行う）
- ④集団生活の場では、共用部分の消毒

## ・手足口病（流行発生警報発令中）



第 26 週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、17 人でした。

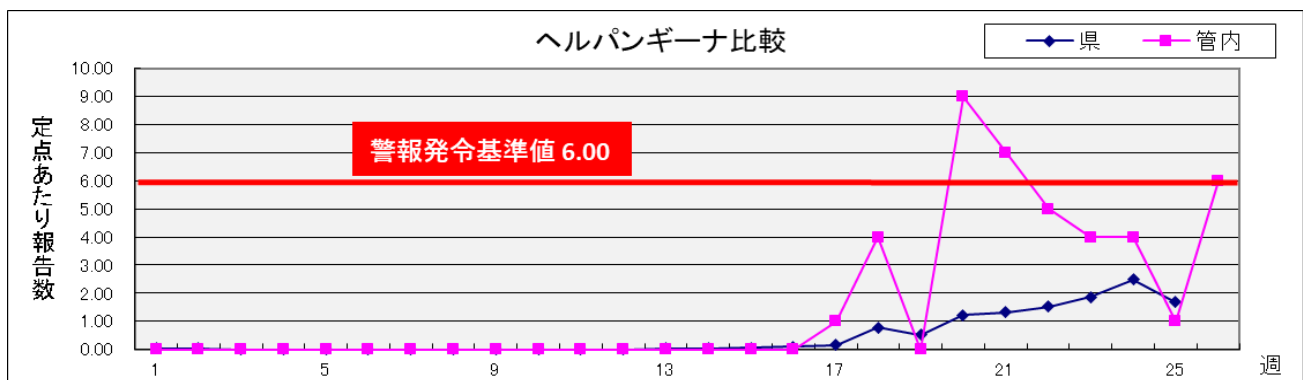
年齢別では、2歳（8人）、1歳（5人）、6～11カ月（3人）、3歳（1人）の報告がありました。

手足口病は、感染してから3～5日後に、口の中、手のひら、足底や足背などに水疱性発疹が出ます。発熱は約3分の1にみられますが、あまり高くなく、高熱が続くことは通常はありません。ほとんどの発病者は、数日間のうちに治る病気です。

感染経路としては、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染すること）が知られています。

予防法としては、タオルの共用を避け、手洗いをしっかり行いましょう。

## ・ヘルパンギーナ（流行発生警報発令中）



第 26 週の伊集院保健所管内におけるヘルパンギーナの報告数は、6 人でした。年齢別では、8歳（2人）、1歳・2歳・3歳・7歳（各1人）でした。

ヘルパンギーナは、発熱とともに、のどに痛みと水疱が現れる「夏かぜ」の一種です。

感染症発生動向調査によると、乳幼児を中心に5歳以下が全体の90%以上を占めます。病気の原因となるウイルスは、主にエンテロウイルス属のコクサッキーウイルスA群です。

主な症状は、感染してから2～4日後に、突然の発熱に続いて、のどに痛みと水疱が現れます。発熱は1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを起こします。一般的に経過は良好で、2～3日以内に回復します。しかし、合併症として、熱性けいれん、脱水症、小児ではまれに髄膜炎や心筋炎などの注意が必要です。ヘルパンギーナは、発症後2～4週間頃まで便からウイルスが排せつされるため、発症した乳幼児のおむつ交換を行う時は、排せつ物を適切に処理し、流水と石けんでしっかりと手洗いをしてください。また、咳やくしゃみをする際は、マスクを着用したり、ティッシュで口を覆うなどの咳エチケットを心がけましょう。

## ○学校における感染症による出席停止の状況6/22～6/28（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週は、溶連菌感染症3人、COVID-19 の17人報告がありました。

自治体名	疾患名	溶連菌感染症	新型コロナ感染症
日置市		3	17
いちき串木野市		0	7
三島村		0	0
十島村		0	0
計		3	24